

# 2019

# SCHOOL GUIDE BOOK



併設型中高一貫教育校  
熊本県立玉名高等学校附属中学校





# 夢実現 未来への挑戦

## ご挨拶

「夢を描き、大きく未来を切り拓いていくために創意工夫する、人間力あふれる次代のリーダー」、それが玉名高校附属中学校の目指す生徒像です。今年で創立116年目を迎える玉名高校は、県下でも屈指の歴史と伝統を持つ学校であり、県北の進学拠点校として、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。玉高附属中は、その玉名高校と中高6年間を見通した教育活動を行うことで、校訓「至誠・剛健・進取」の具現化に努め、「徳・体・知」のバランスのとれた、総合的な人間力を持つ生徒を育成します。

中高一貫教育校のメリットはたくさんありますが、高校入試がない分、じっくりと確実に思考力などを身に付けることができる上に、中学・高校の教師陣の連携や玉名高校図書館の活用による先取り学習や専門性の深化によって、より高い学力を育むことができます。さらに、高校生と日常をともにすることで精神的にも成長し、責任感と協調性、コミュニケーション力が育ちます。

玉名高校・玉名高校附属中学校には、素晴らしい先生や先輩がいます。学校行事も生徒の個性が発揮できる充実したものばかりです。

玉名高校附属中学校へ入学して、新しい歴史の1ページを私たちとつくりませんか。皆さんの入学をお待ちしています。

校長 西澤頼孝

## 校訓

進剛至  
取健誠

## 生徒会長のことば

大久保 志保さん(築山小)



皆さんこんにちは。  
玉名高校附属中学校生徒会は、「飛信」をテーマとし、日々活動しています。附属中は、高校と合同の学校行事や、本物に触れる体験など他の中学校では味わえない貴重な体験をする機会が多くあります。また、生徒同士の仲も良く、様々な個性を持った友人ができます。皆さんも私たちと一緒に玉名高校附属中学校で青春時代を送ってみませんか。

## 玉名高校附属中学校卒業生進学先

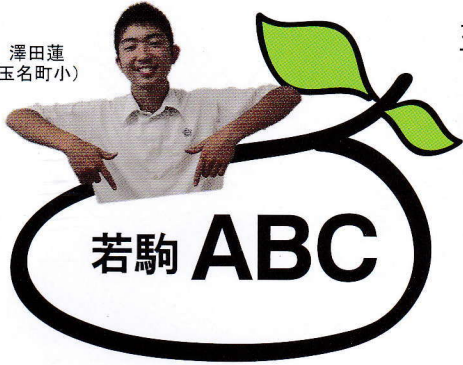
(1期生～3期生累計)

東京大学	4名	京都大学	1名	大阪大学	8名
広島大学	8名	九州大学	13名	熊本大学	30名
					など

# 目指す学校像

県北の進学拠点校として、心を育て、全国難関大学等への進学を実現する。  
校門一礼・いじめゼロ運動に取り組み「世界に誇れる学校」を目指します！！

澤田蓮  
(玉名町小)



若駒 ABC

玉名高校附属中学生は、

**Adventure** 前に向かって挑みます。

**Belief** 自分を信じ、仲間を信じます。

**Career** 夢実現へ向かって第一歩を踏み出します。



坪根瑞季  
(緑ヶ丘小)

1st Stage

中1・中2

感性を磨き、言語能力を身に着けます。

将来にわたり自分の道を拓き国際的に通用する力の基礎として、読解力・言語力を身につけます。  
何事にも感謝する心、尊敬する心を磨きます。

2nd Stage

中3・高1

論理的思考力を磨き、探究力・創造力を身につけます。

将来の職業や学問領域の一端に触れ、探究力・創造力を身につけます。  
言語力をさらに伸ばし、考察力・論理的思考力・発信力を磨きます。

3rd Stage

高2・高3

次世代のリーダーとして、夢実現へと羽ばたきます。

玉名高校の校訓「至誠・剛健・進取」を継承し、目指す分野での次世代リーダーとして第一歩を踏み出します。  
どんな進路目標にも相応しい人間性豊かな総合力を磨きます。

玉名高等学へは高校入試なしで進学できます。

高校入試がない

高校入試を受ける

中進生 (2学級)

高進生 (5学級)

玉名高等学校附属中学校  
(併設中学校)

一般の中学校 (市町村立中・私立中他)

玉名高等学校 高校1年生 7学級 (280人)

## 玉名高校附属中学校 5大特色

～本物に触れる体験～

生徒の可能性を存分に伸ばすために本物に触れる機会を設定しています。

～中高の連携～

中高6年間を見通した計画的・系統的な授業を行います。

～生徒主体の行事や取組み～

主体的な活動を通じて心を育て、切磋琢磨しながら共に伸びる関係を築きます。

～充実の言語教育～

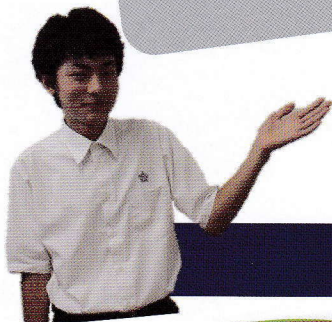
国際社会で通用する国際人の基礎づくりのため、国語力をはじめ英語力の向上に力を入れます。

～きめ細やかな学習指導～

基礎的、基本的な内容や技能を確実に身につけると共に、一人ひとりの個性を伸ばします。



杉村優斗  
(高道小)



可能性を可能性のままに

終わらせない

夢実現

の場所がここにある



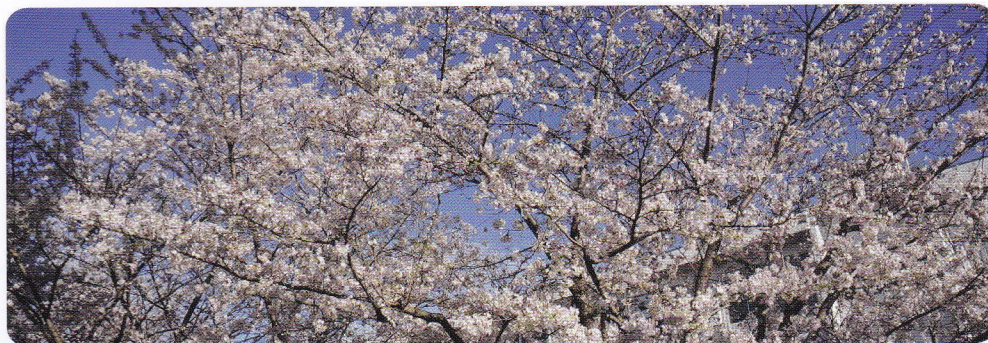
玉名高校・玉名高校附属中学校  
キャラクター わかごまる

Spring

玉名高校が誇る「桜の広場」満開の桜が  
"Welcome to Tamafu" と言っています。



高校と合同の入学式制服はまだちょっと  
ごちないけど新しい生活新しい友達に  
期待は膨らむばかり！



入学式が終わったら一気に体育祭モード。玉附生は生徒自らが競技の説明や練習をします。

生徒会・競技・役員・応援 そのすべてを高校生と一緒にいきます。憧れの存在がすぐそばにいる・・・それが玉附です。



体育祭・中体連を経て 生徒がひとまわり大きく成長する夏。  
暑さに負けず 新しいことに挑戦する姿を多く見かけます。

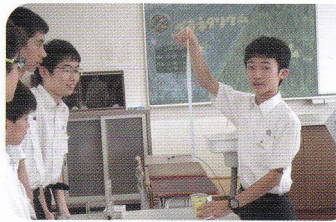
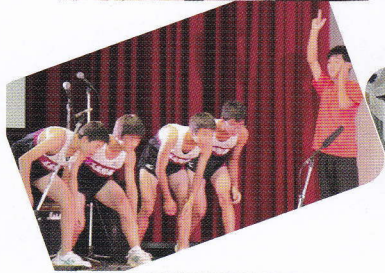
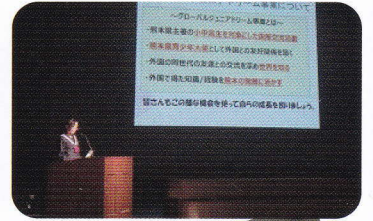


Summer

人生最大の挑戦・・・海外研修。  
高校生にまじりカナダでの語学研修や  
ホームステイを通じて 自分の英語を  
試すチャンス！

# Autumn

伝統校には樹木が多い。秋には色鮮やかな木々が生徒の活躍を見守ってくれます。



文化祭や学芸発表会。これまで学んだことを披露する場。

合唱・演劇・プレゼンテーション・落語や実験・・・

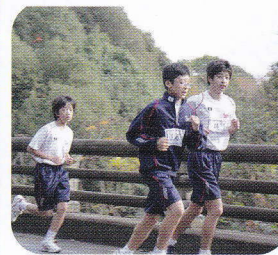
玉附生の才能が最大限に開花するとき！

それぞれの得意なことをステージの上で思いっきり発表します！



# Winter

重要文化財に指定されている第1棟  
真っ白な雪化粧をした姿は  
とても美しい



寒さに負けず12キロを走破せよ。

小袋山一周大会は

体力や気力を鍛えるだけじゃない。

仲間と励ましあい ゴールした先には

温かい豚汁が待っています！

修学旅行。ふだん教室では見られない友達の意外な一面が・・・  
ますますこのクラスが好きになる



# 玉附生の一日

ONE DAY

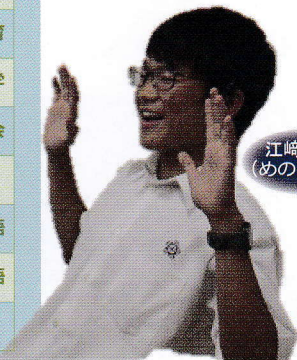


## 玉附の授業スケジュールは

- 1コマ = 50分
- 平日 = 6時間
- 土曜授業 = 年間8回

設定されています。

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:10-8:20	英語リスニング活動				
8:30-8:45	そうじ				
1時間目 8:50-9:40	英語	技家	英語	国語	理科
2時間目 9:50-10:40	体育	社会	道徳	英語	体育
3時間目 10:50-11:40	国語	国語	理科	理科	数学
4時間目 11:50-12:40	数学	美術	数学	体育	社会
12:40-13:20	昼食 / 昼休み				
5時間目 13:25-14:15	技家	音楽	書写	数学	国語
6時間目 14:25-15:15	理科	P.T	美術	社会	英語
7時間目 15:25-16:15	帰りの会	時間割(一年生)			



### 時間割

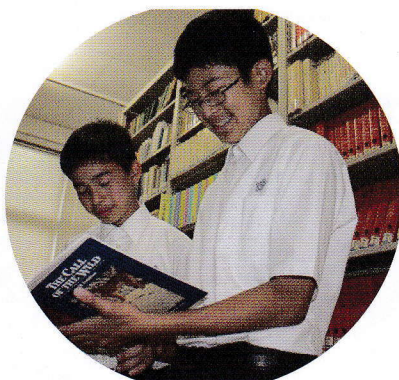
中学一年生の基本時間割  
国数英の時間が標準より多いのが特徴。  
落ち着いた環境の中でじっくり勉強に取り組むことができる。

## 放課後は思い思いに自由に過ごそう



放課後は自由。

図書館で本を読んだり、学習スペースで宿題をしたり、友達と談笑したり・・・そんなリラックスした時間が 明日のエネルギーにつながります。

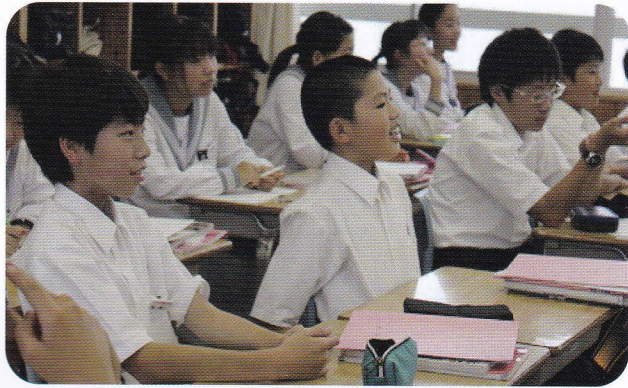


# 未来を夢見て・・・

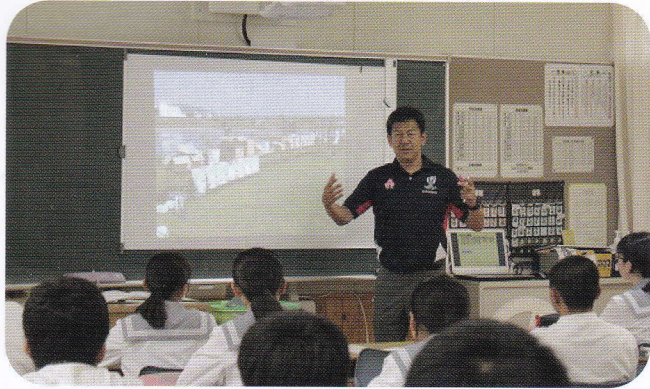
## 充実の学習



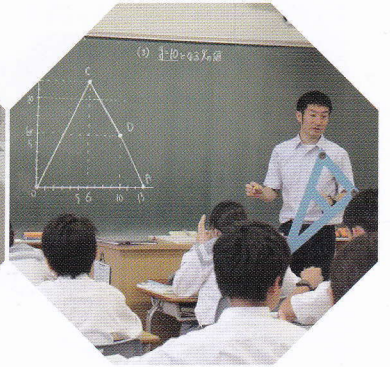
草場ちひろ  
(荒尾中央小)



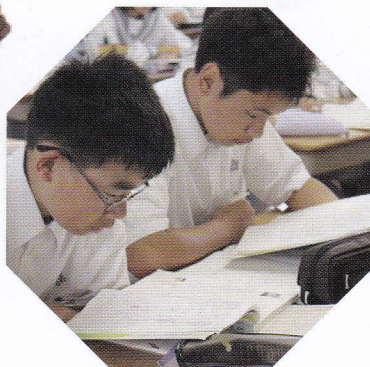
数学と英語は  
習熟度に応じた少人数制  
玉附で身につけたことを基礎に  
玉名高校へと進学します。



玉附の先生方は「情熱派」  
それぞれの教科に誇りを持って授業を  
して下さいます。基本的な知識を定着  
させるだけでなくペアやグループワーク  
を通じて生徒が互いに学びあうのも  
玉附のスタンダードです。



小山えん  
(長洲清里小)



# 部活にも一生懸命！ ～それが玉附PRIDE～

## 玉名高校附属中学校部活動

### 体育部

陸上競技部  
女子バスケットボール部  
ソフトテニス部  
バドミントン部  
サッカー部  
剣道部

### 文化部

音楽部  
美術部  
科学部  
書道部  
器楽部



陸上競技部



男子バドミントン部



女子バドミントン部



女子バスケットボール部



剣道部



音楽部



ソフトテニス部



器楽部



美術部



サッカー部



書道部



科学部



# 本物にふれる体験 ～知性と感性を備えた若駒たれ～

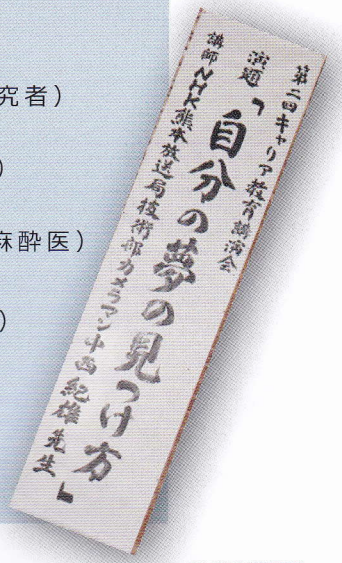
中学時代に味わった「本物の体験」は、その後の人生を大きく左右します。玉附には、心身共に大きく成長する中学時代にこそ体験してほしいプログラムが、たくさん設定されています。

岩尾理子  
(荒尾中央小)

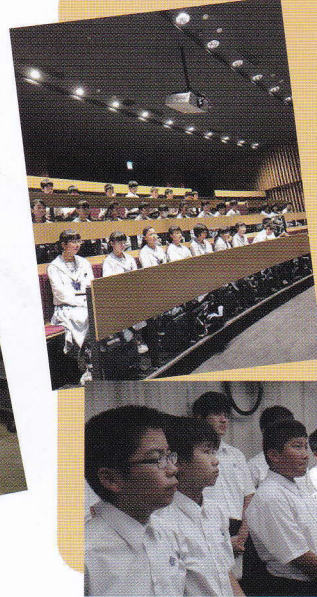


## キャリア教育講演会

- |        |      |                                |
|--------|------|--------------------------------|
| 令和元年度  | ロバート | キャンベル先生 (東京大学名誉教授 日本文学研究者)     |
| 平成30年度 | 大津   | 愛梨先生 (NPO法人田舎のヒロインズ理事長)        |
|        | 中西   | 紀雄先生 (日本放送協会熊本放送局技術部カメラマン)     |
| 平成29年度 | 三池   | 敏先生 (特撮監督)                     |
|        | 大塚   | 尚実先生 (赤十字紛争犠牲者救援事業南スーダン派遣 麻酔医) |
| 平成28年度 | 池上   | 彰先生 (ジャーナリスト)                  |
| 平成27年度 | 岩野   | 祥子先生 (第42次48次日本南極地域観測隊 越冬隊員)   |
|        | 林    | 修先生 (予備校講師)                    |



## 職場体験



## 大学訪問

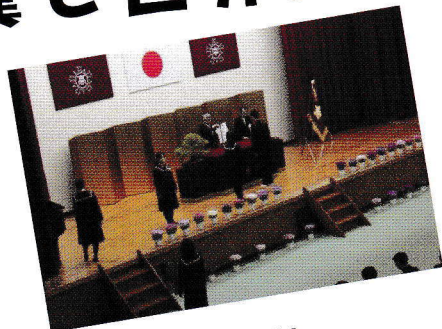
## 福祉体験



## 英語合宿



# 玉附を巣立った先輩方 ～大きな翼で世界に羽ばたく～



大河内悠磨さん（1期生 南関第四小学校出身）

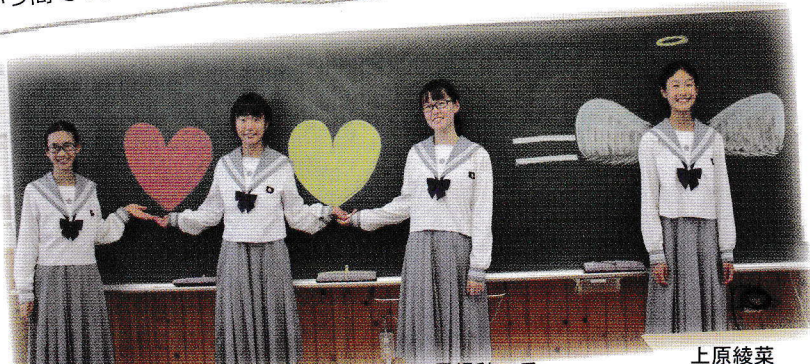
## 「危機感をもって勉強を」

私は今、大阪大学基礎工学部で情報科学を学んでいます。情報科学は主にコンピューターを扱う学問のことです。プログラミングはもちろん、将来的には人工知能（AI）の発展に携わることのできる面白い学問だと思っています。レベルの高い仲間と出会い、たくさんのことを勉強しています。

現在は、大学院への飛び級を見据え、受験勉強をしています。高校生の頃から「早く社会に出たい。就職したい。」という思いと、「しっかり研究をしたい。」という思いがあって、この考えに至りました。皆さんは、勉強はもちろんですが、部活など何か打ち込めるものをひとつ持っていてほしいと思います。私は中学校でサッカー部に所属していました。入部した直後、一年生だけで中体連に出場して、0-23で完敗しました。苦いけど良い思い出です。相手が上級生ばかりの苦しい戦いが続く中で、努力することの大切さを学ぶことができました。勝つためには何が必要か、チームとの連携はどうしたらいいかを考え、練習を重ねに重ね手に入れた初勝利は、本当にうれしかったです。

今振り返れば、このような努力は一生ものだと感じます。皆さんの多くが控えている大学受験でも、自分との戦いや仲間と乗り越えることは必須です。大学に入ってから、卒業論文やゼミもあり、その中で大きな壁が立ち上がることもあります。それを乗り越えるためには、何でもいい、何か努力してやり遂げる経験が大きな蓄えになると思います。

また、中学校で気を付けていたのは、周りの中学校にもライバルがいるということです。附属中は高校受験なしで進学できます。しかし、見方を変えればそれは「油断の種」です。勉強を怠っていると、受験してきた人たちにあっという間に抜かれるかもしれません。危機感をもって勉強する習慣を身につけてほしいです。中学校、高校の生活はあっという間です。後悔の無いよう、自分の目標を作って頑張してほしいと思います。



佐々木桃子  
（緑ヶ丘小）

西島百瀬  
（緑ヶ丘小）

馬場穂乃香  
（荒尾中央小）

上原綾菜  
（荒尾中央小）



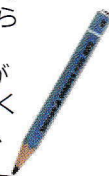
## 橋本張成さん・橋本張智佳さん（2期生 府本小学校出身）「学習の質を上げる工夫」

**張成さん**：私は、今年熊本大学医学部医学科に進学しました。附属中時代は、硬式テニス部で平日2時間、休日3時間みっちり練習していました。帰宅すると疲れて復習ができないことはわかっていましたので、私は授業中に理解と復習を同時にやるような気持ちで集中して臨みました。そして、放課後部活の前に、急いで復習をやりました。勉強でもスポーツでも、質と量はどちらも大切で、質の向上が先だと思います。量は後で増やせますが、質は後から良くすることは難しいからです。

大学（特に医学部）では、高校での学習量とは比べものになりません。しかし、第1希望の大学・学部に入ると、自分が学びたい分野を徹底的に学ぶことができます。そのためにも、中学校での学習はとても重要です。皆さんも、がんばってください。最後になりましたが、今まで支えて下さった方々に感謝し、将来、医師または医学研究者として活躍できるよう、より一層勉学に励みたいと思っています。

**張智佳さん**：私が中学、高校時代に一番苦労したことは勉強と部活動の両立です。テニスと勉強の両立はとても難しかったのですが、工夫して乗り切りました。得意科目は予習中心、苦手科目は復習中心にすることで、勉強の効率を上げるよう心がけてきました。心がけひとつで効率が格段に上がります。参考にいただければ幸いです。私は、受験以上に自分がどんな進路に進むかを決定することはとても重要だと思います。受験後の自分の姿をイメージできると、苦しい受験勉強も乗り越えられます。

私は将来、立派な医師、医学研究者になるべく、今は充実した学習ができています。これは自分の希望通りの進路に進んだからです。中学や高校では、勉強する理由がわからなくなることもあるかと思っています。自分の将来像を思い描いて、その夢に一番ふさわしい環境を選んで、進んでほしいと思います。





多田隈夏実さん (3期生 南関第四小学校出身)

「～附属中～世界に羽ばたく素地を作る場」

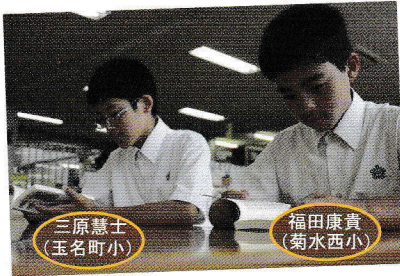
私は、今年の9月からカナダのバンクーバーにあるUniversity of British Columbiaという大学に進学します。附属中学校に入学して経験した様々な体験が、私がこの決断をすることへ導いてくれたと思います。中学1年のときに英語暗唱大会に初めて出場しました。他校のレベルの高さに圧倒され、ロボットのように固まったのを覚えています。また、中学3年の時参加したカナダの研修では、英語が得意だと思い込んでいた私は、ほとんど自分の気持ちを英語で現地の人に伝えることができず、一日目で自信喪失。

しかし、これらの経験はその後の私の成長の糧となりました。英語暗唱大会は、1年後に再チャレンジ。地区大会で最優秀賞を取ることができました。カナダの研修では、悔しいままでは帰れないと思い、めげずに積極的にコミュニケーションをとり続けました。日本に帰ってからホストシスターと話すうちに、自分が言いたいことを英語で伝えることができるようになりました。

このような中学生活から、大学の4年間でも、自分のやりたいことにチャレンジして、最大限に成長できる環境で過ごしたいと思うようになり、海外の大学に進学することに決めました。

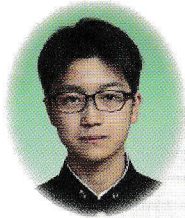
これからの4年間の大学生活では、文化人類学を学ぼうと思っています。様々な文化が混在するカナダで、机の上だけではなく、実際に多文化を肌で感じながら、世界の文化や人々のルーツについて勉強をしたいと考えています。大学生活を通じて価値観を広げ、知識やスキルだけでなく、想像力や応用力、コミュニケーション能力をもったグローバルな人になりたいです。

最後に、これから附属中に進学する皆さんには、何事にも積極的にチャレンジしてほしいと思っています。ラッキーなことに、附属中には、皆さんがチャレンジできる場があり、全力でサポートして下さる先生がたくさんいらっしゃいます。互いに切磋琢磨できる仲間がいるのも附属中の魅力のひとつです。始めの一步。附属中であなたの可能性を高めてみませんか。世界の舞台で会えることを楽しみにしています。



三原慧士 (玉名町小)

福田康貴 (菊水西小)



黒田文晴さん (5期生 大牟田中央小学校出身)

「集団をまとめるリーダーになる」

私は今年、生徒会長に当選し、玉名高校を支える立場で、忙しくも充実した毎日を送っています。附属中学校に入学した私は、1年生の冬に生徒会副会長になりました。体育祭や文化祭など、中高合同で行う行事も多く、高校生徒会にも興味を持ちました。中学校三年間で、生徒会活動の目標を、高校の生徒会長になることに定め、高校に入学してからも積極的に生徒会の仕事に取り組んできました。

中学校生活を振り返ると、本当に工夫のされた毎日だったと思います。朝のリスニング活動や、ICT機器を使った授業、少人数授業も十分にあり、数えるときりがありません。生徒と先生方、育友会の方々が、僕たち生徒たちのために努力をして下さっているのが、手に取るようにわかります。

私は将来、社会のリーダーとなり、社会に貢献できるよう、生徒会活動や勉強共に頑張っていきます。



田中維央和 (万田小)

濱邊凌玖 (荒尾第一小)

山本国和 (平井小)

田尻明 (睦合小)

吉田陽 (高道小)

溝口泰暎 (菱形小)



井上陽也さん (4期生 鍋小学校出身)

「勉強だけじゃない」

「玉名高校附属中学校は勉強だけじゃない！」これが、玉名高校附属中学校で三年間過ごした私の実感です。

玉名高校といえば体育祭が有名です。高校3年生となった私は、第72期体育祭企画委員長という学校全体を率いる大役を務めました。苦労はとても一言では言い表せませんが、中学3年生の時に団長をした経験がどこかで私の支えになっていたように思います。中学3年生の時、団長を引き受けた私は人をまとめることの難しさを痛感しました。それでも、団長としての責任を果たそうと懸命に頑張り、やり終えた際にはとても大きな達成感があったことを覚えています。

中学から高校までの6年間で生徒同士に強いつながりが生まれます。その中で生徒が中心となって企画運営する多くの行事が行われます。様々な体験を通して多様な価値観や考え方を身につけていくことができるのが玉名高校であり、玉名高校附属中学校です。



津川美咲さん (6期生 菊陽西小学校出身)

「中学時代とこれから」

私の玉高附属中学校での思い出は、高校生と共に創り上げる体育祭、若駒祭などの行事に参加したことや、他の中学校ではできない様々な体験学習をしたことです。また、友人たちと月に一度の単語テストで競い合ったり、部活動で他学年の人と交流を深めたりしたことなど、どれも大切な思い出です。

中学時代の学芸発表会や委員会の活動を通じて、私は人前で何かを表現することの楽しさに気づきました。今は、玉名高校の演劇部に所属し活動しています。中学校の経験は、私の視野を広げてくれました。これからの高校生活でも、中学校時代で得た力を生かし、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

